LIXIL
INAX

保証書付

レジオコレクション

手洗キャビネット

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に
大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書を
お渡しください。

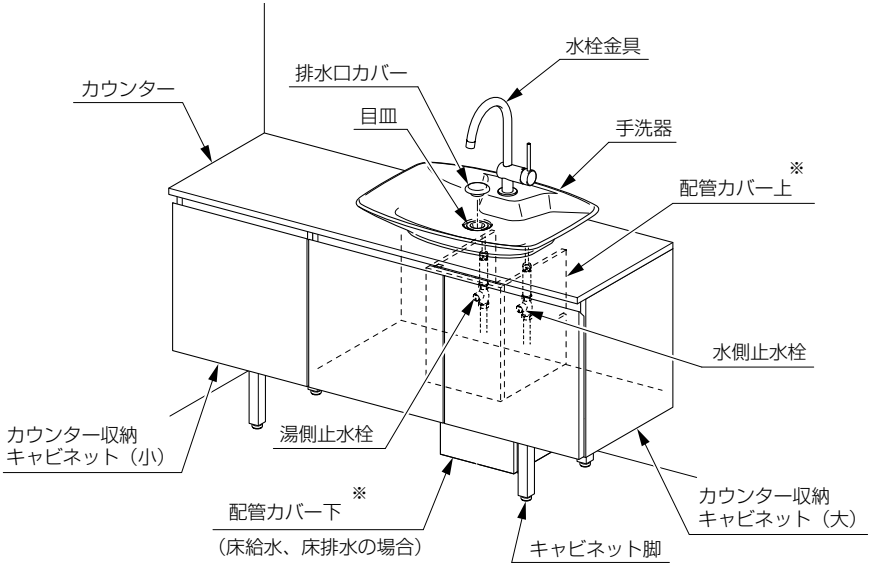
もくじ

各部の名称……2
安全上のご注意……3
ご使用前に……8
ご使用方法……9
お手入れ方法……12
冬期凍結の恐れがある場合……23
長期間使用しない場合……24
修理を依頼される前に……25
アフターサービスについて……26
仕　様……28
保証書……31

プラ
袋 PP

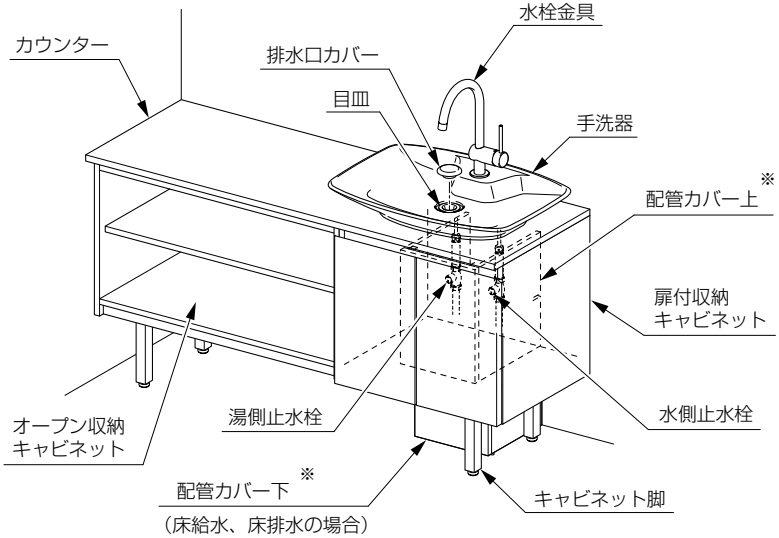
●各部の名称

■カウンター収納付タイプ



※配管カバーは付いていない場合もあります。

■カウンターオープン収納付タイプ



※配管カバーは付いていない場合もあります。

●安全上のご注意（お使いになる前に必ずお読みください。）

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は､状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

……「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

……「指示した場所に触れてはいけません！」

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

修理技術者以外の人は、取扱説明書に記載された事項以外では、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガをする恐れがあります。

⚠注意

小さいお子さまだけでの使用は避けてください。
※ヤケドやケガをする恐れがあります。

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※腐食・カビ発生の恐れがあります。

上水道以外は使用しないでください。
※内部の腐食により、破損や漏れ、故障の原因となります。

商品が破損したり、ガタついたり、あるいは取り付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。すぐにお取り替えや修理依頼してください。
※落下の恐れや破損部位でケガをする恐れがあります。

商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃を与えたり、固いものをぶつけたり、冷水・熱湯などをかけたりしないでください。
※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。

ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

直射日光が当たる場所は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の恐れがあります。

酸、中性に弱いので、酸洗いや酸性洗剤、中性洗剤を使用してカウンターを拭かないでください。
※変色の恐れがあります。（色合いが白くなります ）

酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネットを拭かないでください。
※変色や変形の恐れがあります。
（溶剤がつきますと跡が残ることがあります）

カウンターや手洗器の上に乗ったり重いものを乗せたりしないでください。
※変形や破損してケガをする恐れがあります。

⚠注意

扉は静かに開閉してください。また、無理な方向に動かさないでください。
※商品が破損する恐れがあります。

扉にぶらさがったり、大きくあけすぎないでください。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。特に、小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

扉が傾いたり、ガタついている時は、蝶番のねじを締めなおしてください。
※扉が落下し、ケガをする恐れがあります。
（扉の調節方法は21ページ参照）

キャビネット内部に水をこぼさないでください。
※床へ漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
※木が水を含み痛む恐れがあります。

陶器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。
※破損部でケガをする恐れがあります。

陶器にひびが入ったままで使用しないでください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。

レバーハンドルを操作するときは、ゆっくり動かしてください。
※急に操作すると音が出たり、吐出温度が急に変わります。
※急な操作を行うと、手洗器の外へ水が飛び出て、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

水が手洗器内に残っているうちにレバーハンドルのON、OFF操作をくり返さないでください。
※洗面器の外へ水が飛び出て、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

お湯の使用中に、他所の水栓の同時使用のないように、注意してください。
※圧力変動がおこり、湯温が急上昇して、ヤケドをする恐れがあります。

水栓の奥側は給湯側のため高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。

⚠注意

高温の湯をお使いのときには、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてくだ さい。
※ヤケドをする恐れがあります。

接触禁止

給湯温度は最高85℃までででお使いください。
※85℃より高温でご使用になると器具の寿命が短くなり、破損して、ヤケドをする恐れがあります。
なお、安全のため60℃給湯をおすすめします。

指示実行

お湯をお使いになるときは、必ずレバーハンドルを水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。
※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。

指示実行

お使いになる前に、必ず適温であることを確かめてください。
※高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。

指示実行

高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、しばらく水を流してください。
※次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。
※次の使用者が誤って高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。

指示実行

定期的に、配管の漏水やガタつきがないか確認してください。
※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

指示実行

鉛筆、ボールペン、クシ、歯ブラシなどを誤って手洗器排水口に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。
※排水管が詰まり排水があふれる恐れがあります。

禁止

配管からの漏水を起こすことがありますので、レバーハンドル操作の急閉止はしないでください。
※漏水により家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

指示実行

吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけたりしないでください。
※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因となります。

禁止

⚠注意

凍結が予想される場合は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。
（寒冷地仕様の場合は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください）
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

寒冷地用の場合、凍結時に解氷機をご使用の際は、水栓本体部には絶対に通電しないでください。
※発熱により水栓が破損して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

●ご使用前に

■給湯機器と組み合わせてご使用の場合

●給湯温度調節機能（リモコン）がない給湯機器ではご使用になれません。

●給湯圧力が低いときや水温が高いときは、給湯機器が着火しない場合があります。
（直圧式給湯機器の場合）
この場合は給湯機器の設定温度を少し下げてご使用ください。
●能力切替付の給湯機器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
※流量を絞って使用すると給湯機器が着火しない場合がありますので、ご注意ください。
（直圧式給湯機器の場合）

■天然石（カウンター）についての注意事項

●天然石のため色幅・石目模様・亀裂・透明な脈や白の斑模様が入る場合があります。
※脈とは・・・異質層をはさんでいるために生じるスジなどの模様
●素材上の理由により、裏面側小端にビリ欠けがある場合があります。
※ビリ欠けとは・・・石の切断によって生じる切口面の細かな欠け
●層状に色合いの変化があります。カタログ写真やカットサンプルと実際の商品とでは、色等が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
●洗剤に弱いので、使用しないでください。白く脱色してしまいます。清掃は乾いた布でからぶきしてください。からぶきで落ちない場合は、水ぶきをしてください。最後は乾いた布でからぶきしてください。

■突き板についての注意事項

●直射日光にあたると変色の恐れがありますのでご注意ください。
●天然の素材のため、色幅・木目模様の違いがありますので、あらかじめご了承ください。

●ご使用方法

1. キャビネット

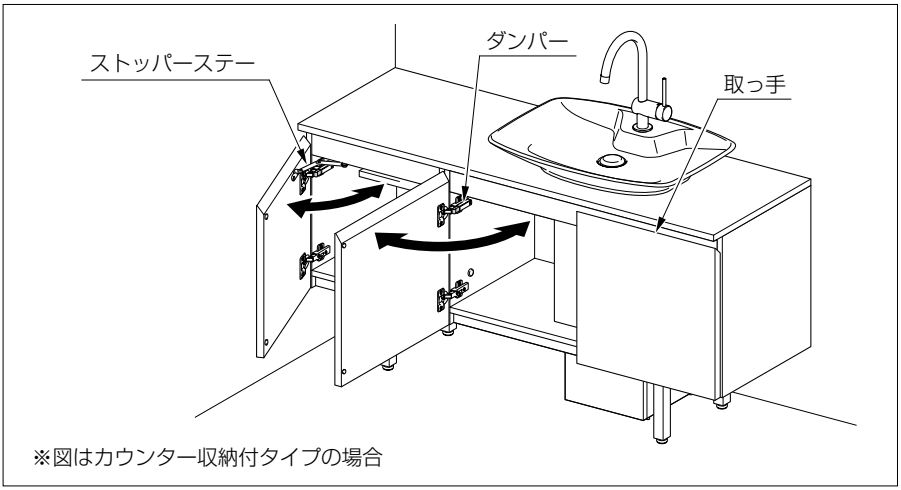
■扉の開閉方法

●扉を開けるときは、扉上端取っ手に手をかけ、手前に引いて開けてください。

●扉の上側蝶番にダンパーが付いていますので、扉を閉めるときは、ある程度まで閉めていただきますと、あとはダンパーの働きによりゆっくりと閉まります。

※カウンター収納付キャビネットの場合、奥側の扉は一定以上開かないようにストッパーステーが付いています。

※扉は無理に開閉しないでください。キャビネットやストッパーステーが破損する恐れがあります。

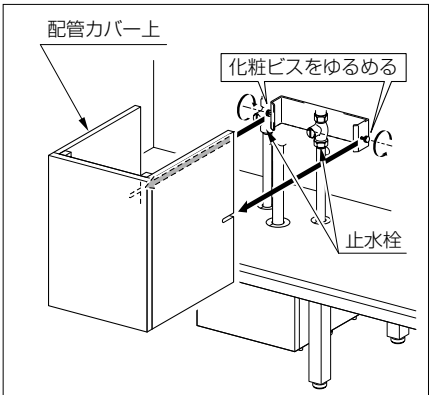


※図はカウンター収納付タイプの場合

■配管カバー上の取外し方法

●配管カバー上を開ける場合は、化粧ビス（2ケ所）を手で回してゆるめてください。

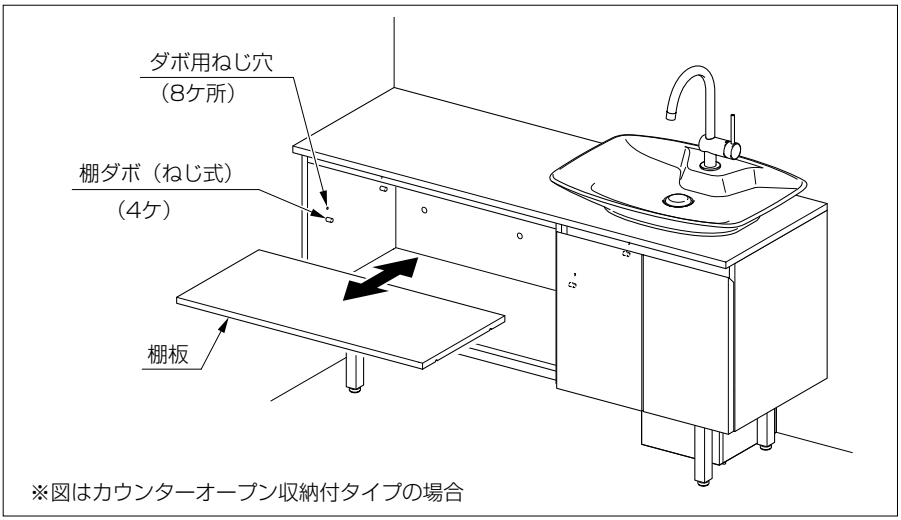
※配管カバー上を開ける場合は、止水栓を閉じる場合等です。



※図はカウンター収納付タイプ、床給水・床排水の場合

■棚板のつけかえ

●棚板は、位置変更が可能です。
棚ダボを手で回して取り外し、棚板の位置を変更してください。

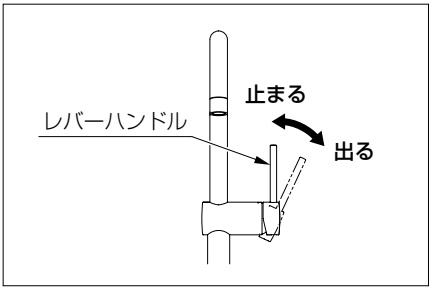


※図はカウンターオープン収納付タイプの場合

2. 水栓金具

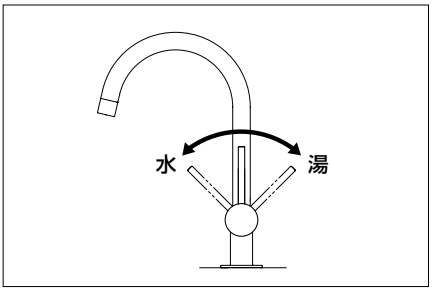
■吐水量の調節

●レバーハンドルを右に倒すと吐水し、倒し具合で流量を調節できます。
レバーハンドルは前後どの位置でも左へ戻すと止水します。



■お湯の温度調節

●レバーハンドルを奥側に倒すと吐水温度が上がり、手前側に倒すと吐水温度が下がります。
※高温ヤケドに注意してください。

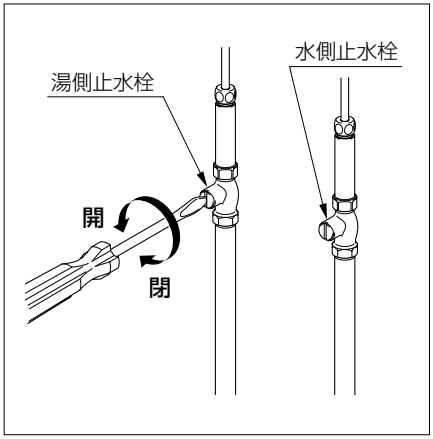


■止水栓による流量調節の方法

●流量の調節は、止水栓を調節して行ってください。止水栓は配管カバー上の中にあります。

※設置時にあらかじめ流量調節がしてあります。流量を変更したい場合はキャビネット扉を開き止水栓を調節してください。（配管カバーが設置されている場合は、カバー左右の化粧ビスを手でゆるめて、配管カバーを手前に引いて取り外してください。）

※定流量弁が入っていますので、止水栓を一定以上開いても流量は変わりません。



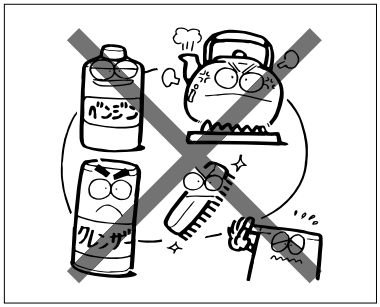
※低圧現場で定流量弁が取り外されている場合、湯・水各々がレバーハンドル全開で約4L/min以下になるように、必ず止水栓で流量調節してください。吐水量が多すぎると水はねが起こり、使用しづらくなります。

4L/minの目安：市販の洗面器（容量3L）をいっぱいにするのに約50秒。

●お手入れ方法

注 意

●表面の変色や変質の原因になる以下のものは使用しないでください。
- 中性洗剤以外の洗剤**（カウンターには中性洗剤も使用しないでください）**
- 酸、アルカリ、塩素系漂白剤
- 熱湯
- クレンザー、磨き粉
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 金属たわし、硬いブラシ、硬い布

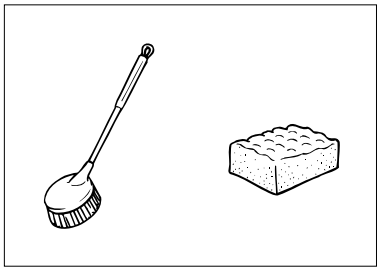


日常のお手入れ

■手洗器

●手洗器のお手入れは、樹脂製のブラシやスポンジを用いて中性洗剤と水、またはぬるま湯で洗ってください。熱湯を手洗器に注ぎますと割れることがありますのでおやめください。

※ガラス質を侵すフッ素化合物入の洗剤は表面が侵されますのでお使いにならないでください。



●当商品は、抗菌製品技術協議会のSIAAマークに適合したKILAMIC抗菌仕様商品です。SIAAマークは、抗菌製品技術協議会の「安全性と抗菌性能などのガイドライン」に沿って品質管理された製品に表示されるマークであり、情報公開されています。

SIAA ISO22196 for KOHKIN ハイパーキラミック HYPERKILAMIC

- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。

■キャビネット

●汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあとすぐ水ぶきをし、乾いた布で水分をふきとってください。

■カウンター

●掃除は乾いた布でからぶきしてください。からぶきで落ちない場合は、水ぶきをしてください。最後は乾いた布でからぶきしてください。

⚠注意

掃除は乾いた布でからぶきしてください。からぶきで落ちない場合は、水ぶきをしてください。最後は乾いた布でからぶきしてください。
※カウンターは天然石のため、洗剤に弱いので使用しないでください。白く脱色してしまいます。

カウンター上面に洗剤、薬品を置かないでください。
※カウンターは天然石のため、洗剤、薬品に非常に弱いため変質の恐れがあります。

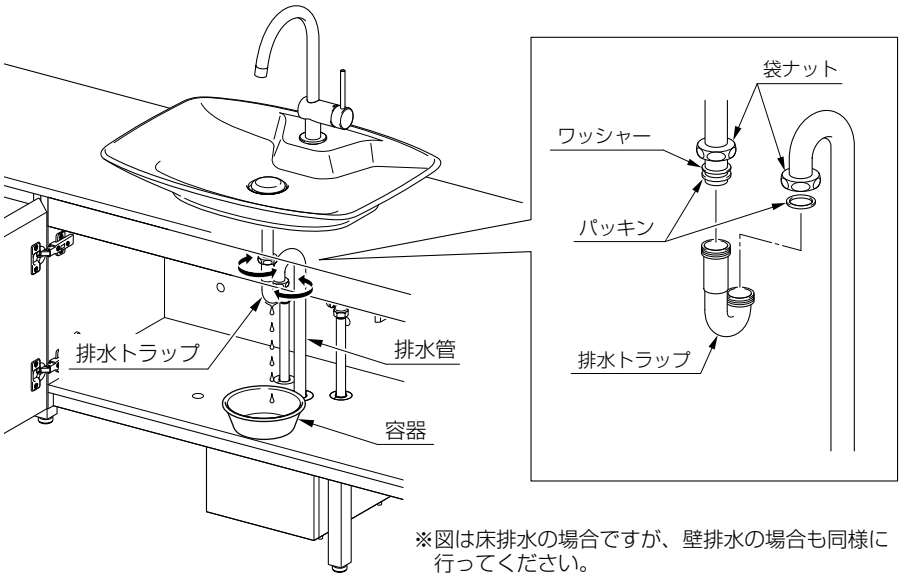
■水栓金具

●水栓の表面の汚れは、薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふきとってください。
※水栓の表面についた洗剤はよくふきとってください。

■排水管、排水目皿のお手入れ

排水しない、排水に時間がかかるなどの場合には、排水管、目皿の詰まりが考えられます。以下のようにお手入れください。

●排水管、排水トラップ



※図は床排水の場合ですが、壁排水の場合も同様に行ってください。

（1）配管カバー上を取り外してください。（配管カバー上の取外し方法はP.9を参照ください）
（2）排水トラップの真下に配管内の封水を受ける容器を置きます。
（3）袋ナットをゆるめて排水トラップを取り外し、ゴミを取り除きます。
（4）排水管の掃除を行った後、再度ナット部をモーターレンチ等で締め付けます。
※袋ナットはモーターレンチ等でしっかり締め付けます。締め付けがゆるいと、漏水やトラップの脱落の恐れがあります。
※パッキンの入れ忘れがないように注意してください。漏水の原因となります。
※袋ナットとパッキンのはめ合いは、きつめになっていますので、袋ナットをねじりながらはめ込んでください。
（5）一度水栓から水を流し、配管から水が漏れていないことを確認します。

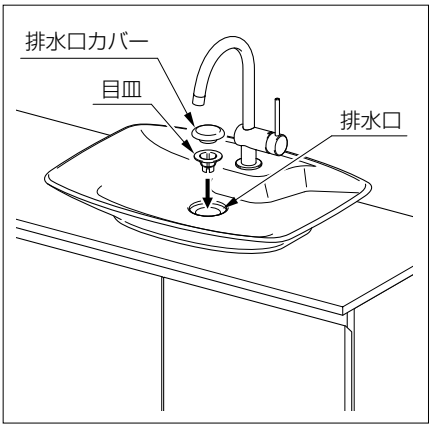
ワンポイント
（5）の確認を怠ると、排水口から下水の臭いが漏れてくることがありますので、必ず一度、水を流してください。

（6）配管カバー上の取付けは、取外しの逆の要領で行ってください。

●排水口カバー、目皿のお手入れ

排水口などを清掃する際は、排水口カバー、目皿を取り外して掃除してください。

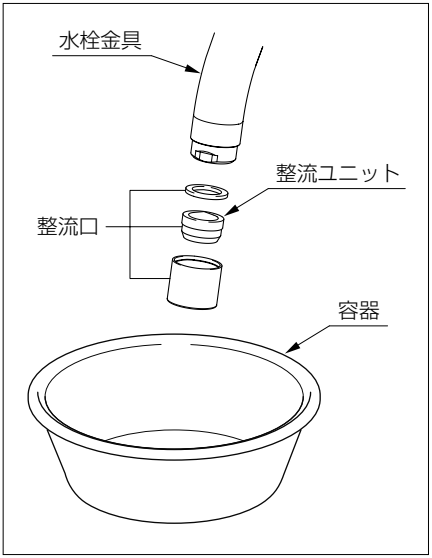
- 排水口カバー（品番：GH-50）の破損、目皿（品番：12-1094）の破損の紛失の場合はLIXIL修理受付センターにご依頼ください。（P.26 を参照ください）



定期的なお手入れ

■整流口

●整流口の紛失を防ぐため、下に容器を準備したあと、整流口を手で取り外し、整流ユニットを水で掃除してください。

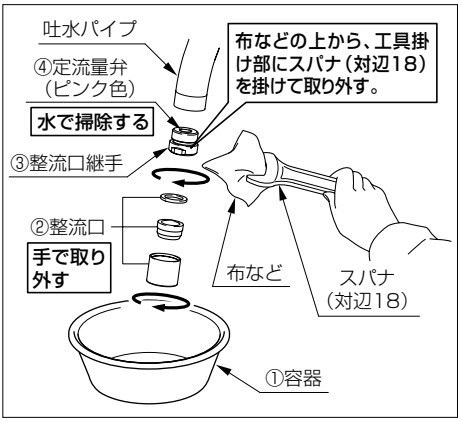


■定流量弁

●整流口を掃除しても水の出が悪い場合、以下の要領で定流量弁を水で掃除してゴミを取り除いてください。

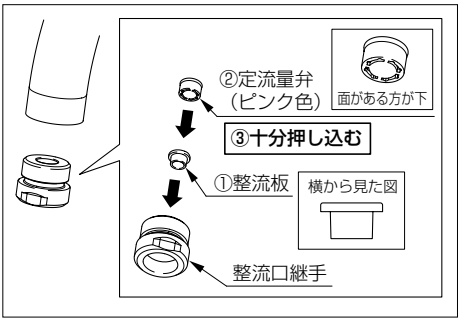
【取り外し方法】

①部品の紛失を防ぐため、下に容器を準備します。
②整流口を手で取り外します。
③整流口継手に布などを当て、その上から工具掛けにスパナ（対辺18）を掛け、整流口継手を取り外します。
④整流口継手の中にあるピンク色の定流量弁を水で掃除し、ゴミを取り除きます。



【掃除の際に定流量弁が外れた場合】

①整流口継手に整流板をはめ込みます。
※向きに注意してください。
②整流口継手に定流量弁をはめ込みます。
※向きに注意してください。
③定流量弁を十分に押し込みます。
※定流量弁が整流口継手から外れないことを確認してください。

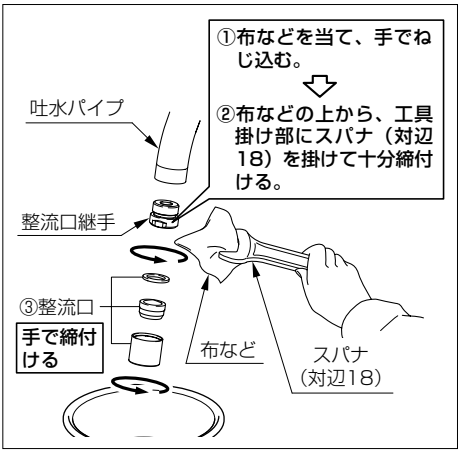


【取り付け方法】

①整流口継手に布などを当て、整流口継手を吐水パイプに手で軽くねじ込みます。
②工具掛けにスパナ（対辺18）を掛け、整流口継手を十分に締め付けます。

手で締め付けるとケガをしたり、締め付けが足りず漏水する恐れがあります。必ずスパナで締付けてください。

③整流口を手で締付けます。

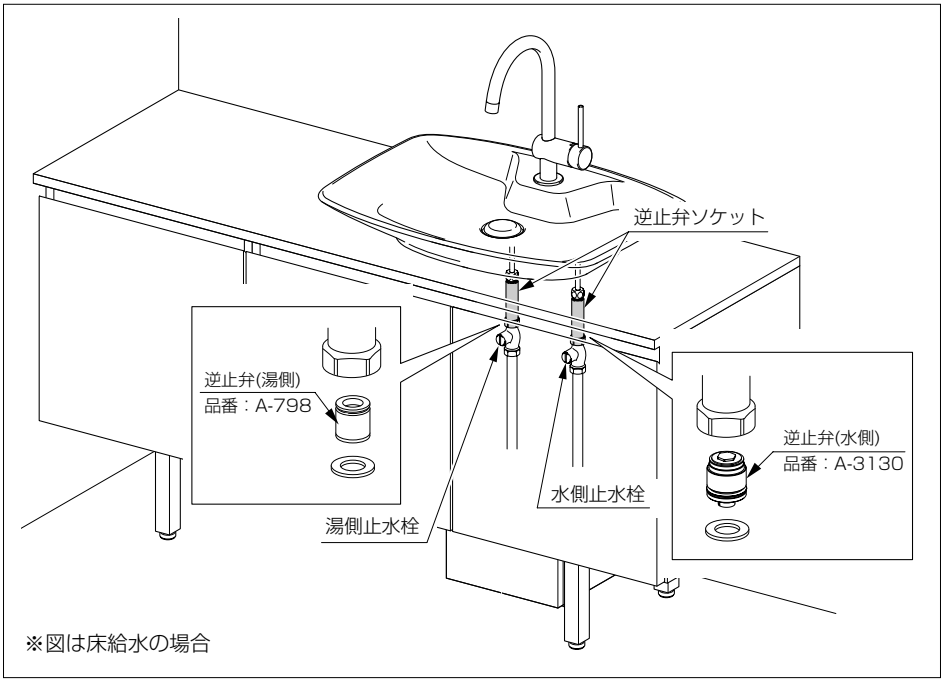


■定期的な部品交換のお願い

●逆止弁の交換
（一般地タイプのみ）
交換時期：３～５年

●逆止弁の交換は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご依頼ください。（P.26 を参照ください）

●LIXIL 修理受付センターにご依頼の場合、修理料金は“技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。



※図は床給水の場合

■手洗器のお手入れ［プロガードのお手入れ］

1、おススメのお手入れ道具

●プロガードの性能を長持ちさせるために以下の洗剤・道具をおススメします。

• 中性洗剤　• けんま材なしの洗剤　• けんま材なしのスポンジ

2、知っておいてください

●手洗器の平坦なところについたしずくや汚れが水玉となって、目立つように感じられることがあります。

従来の手洗器では水をはじく効果が弱いため、付着した汚れが広がってわかりにくくなり、洗い残しが生じました。

しかしプロガードなら汚れに気づきやすく、お手入れができますので、清潔好きの方にも安心です。

はじかなくなっても、水アカ防止効果は保たれています。

●プロガードは水をはじくのが特徴ですが、使い続けるとその効果が薄れていきます。その場合でも水アカ防止効果は保たれています。

どうぞご安心ください。

3、じょうずなお手入れ方法　～プロガードは、おそうじがラクです～

水アカがつきやすいところにプロガード加工してあります。

●樹脂製の柔らかいスポンジブラシなどで、軽くこする程度で十分です。

※少量の中性洗剤ですみます。（強力な洗剤は不要です）

プロガードの効果持続期間について

適切なお手入れ方法を守っていただければ、プロガードの効果は、使用開始から毎日お掃除をしても15年間は持続します。

効果持続期間は、清掃頻度などの使用状況によって異なります。表記期間を保証するものではありません。

「持続期間15年間」の算出は以下の条件によっています。

●洗面器掃除は毎日。
●1回につきプロガード加工面を往復2回こする。
●この掃除頻度で、15年経過。
　2回×365日×15年
　≒10,000回の磨耗回数

4、リフレッシュサービスのご案内

～５年以上経過したら再加工をおすすめいたします～

ご使用開始から５年以上経過し、プロガードの水アカ防止効果が低下した場合、お客さまのご希望に応じてプロガードの再加工を承っております。

ご使用から5年後を目安に・・・。

LIXIL のサービスマンがお客さまのお宅へ訪問して、商品のリフレッシュ清掃とプロガードの再加工を行います。作業時間は 1 ～ 2 時間程度です。

サービス・価格などの詳細は、下記のフリーダイヤルへお気軽にお問い合わせください。

お求めの販売店または
またはLIXIL修理受付センター

0120-179-411 全国フリーダイヤル（電話料金無料）

受付時間は保証書をご確認ください。

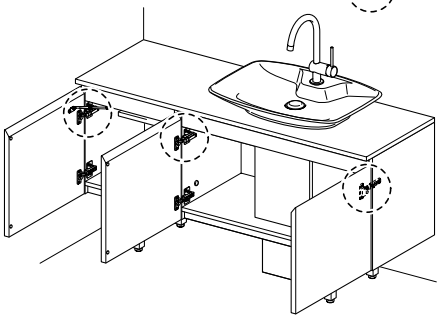
長くお使いいただくために

■扉の調節

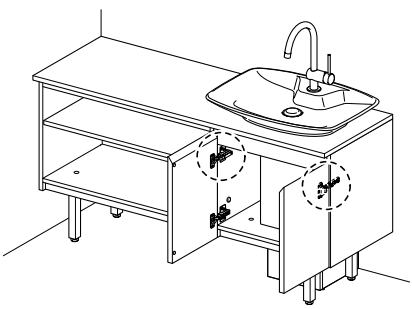
（1）各扉の上側蝶番に付いている蝶番取付用ダンパーを取り外してください。

※ダンパーの取付け・取外しの際は、必ず保護用手袋を着用して行ってください。
※ダンパーは扉の調節後に設置してください。

ダンパー付き蝶番位置



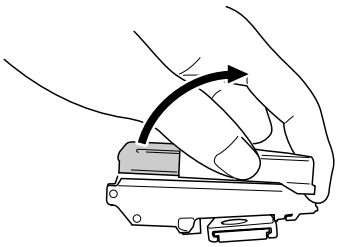
【カウンター収納付タイプ】



【カウンターオープン収納付タイプ】

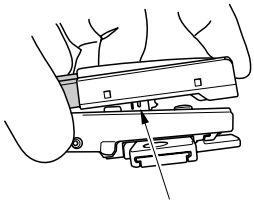
「蝶番取付用ダンパーの取外し方法」

●親指でダンパーの樹脂部を持ち上げるようにして強く引き、取り外します。



「蝶番取付用ダンパーの取付方法」

●ダンパーの裏側に付いている茶色のツメを蝶番の窓穴の手前に当て、上から強く押し付けて取り付けます。



茶色のツメを窓穴の手前に当てる

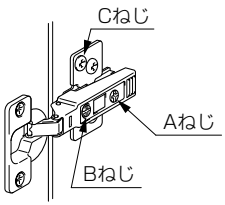
（2）スライド蝶番の調節を行ってください。

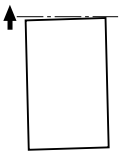
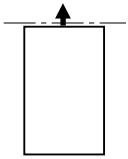
※扉の目地調節の目安は P.22 を参照ください。

スライド蝶番の調節

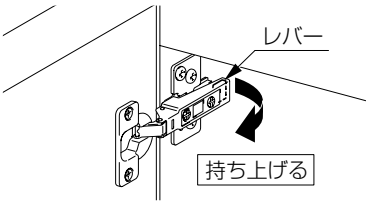
●扉のスライド蝶番を調節する際はＡねじ、Ｂねじ、Ｃねじ以外のねじは絶対にゆるめないでください。

●調節後は必ずＡねじ、Ｃねじが固く締め付けてあることを確認してください。



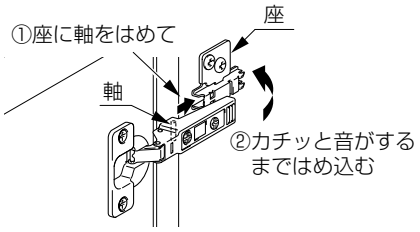
1. 扉の先端を上に上げるとき	2. 扉と側板のすき間が上下違うとき	3. 扉の高さが上下にずれているとき
		
1）扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節する。 または、扉上方の蝶番のBねじを右へ回し調節する。 2）扉を閉めて確認する。 3）正しい位置になるまで1）、2）をくり返す。	1）扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にする。 2）正しい位置でAねじを右へ回して締め付ける。	1）扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にする。 2）正しい位置でCねじを右へ回して締め付ける。

扉の取外し方

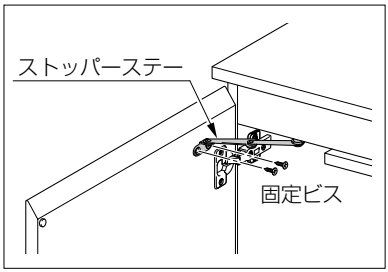


●蝶番裏のレバーを引いて扉を外します。

扉の取付方

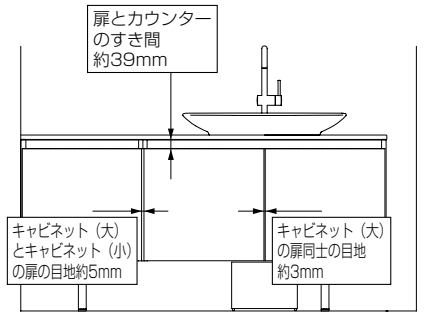


※カウンター収納キャビネット（小）の場合、扉を外す場合は、必ず先にストッパーステー固定ビスを取り外してください。
また、扉を取り付ける場合は、蝶番を取り付けた後にストッパーステー固定ビスを取り付けてください。

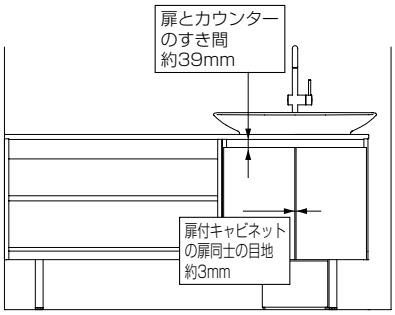


扉の目地調整目安

【カウンター収納付タイプ】



【カウンターオープン収納付タイプ】



●冬期凍結の恐れがある場合

水栓や配管が凍結すると部品が破損し、漏水の原因となります。
また、凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となりますので、ご注意ください。

■凍結予防のしかた

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は次の対策をしてください。

【一般地用をご使用の場合】

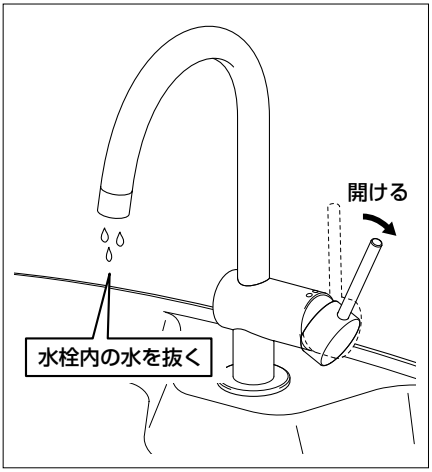
凍結が予想される場合は、以下の対策で凍結を予防できる場合もあります。

●水栓から少量の水を流し放しにする。
●配管などに保温材を巻く。

【寒冷地用をご使用の場合】

凍結が予想される場合は､次の手順に従って配管と水栓の水抜操作を同時に行ってください。

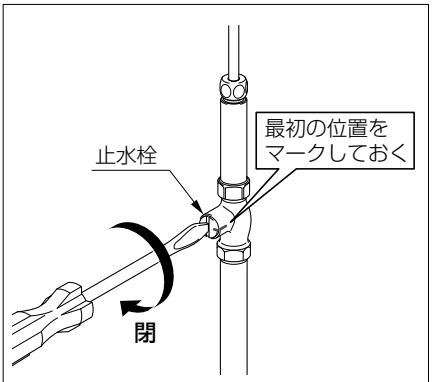
1．配管の水抜栓を操作する。
2．レバーハンドルを全開する。
（温度調節は温と水の中間としてください）
3．水栓の水が抜けたら、レバーハンドルを閉める。
※レバーハンドルを開けたまま放置すると、凍結で閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず、自然解凍してください。



●長期間使用しない場合

■長期間使用しない場合（準備）

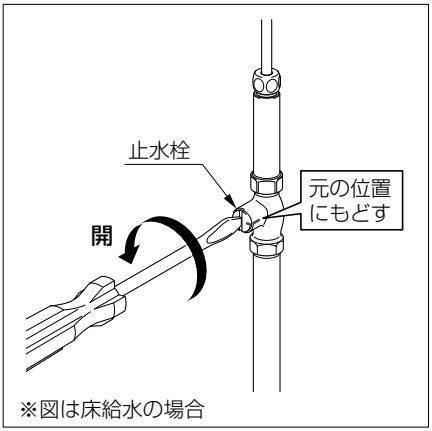
1．配管カバー上を取り外してください。
　配管カバー上の取外し方法は、P.9 を参照ください。
2．止水栓を操作して、水栓金具への給水を止めます。
　※このとき最初の位置をマークしておいてください。止水栓は調節してありますので、再使用時、元の位置に戻す必要があります。



※図は床給水の場合

■再び使用する場合（試運転）

●止水栓を操作して水栓金具への給水を行います。
　※マークしておいた元の位置に止水栓を調節してください。

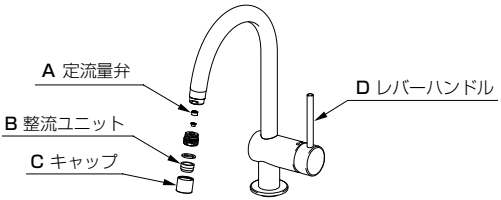


※図は床給水の場合

●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現象		確認内容	処置	点検箇所	参照ページ
水栓	吐水しない	止水栓は開いていますか？	止水栓を開く	—	P. 11
		レバーハンドルは閉じていませんか？	レバーハンドルを開ける	D	P. 10
		断水中ではありませんか？	回復するまで待つ	—	—
	流量が少ない	流量の調節は適正ですか？	止水栓で流量を調節する	—	P. 11
		整流ユニットまたは定流量弁にゴミ等が付着していませんか？	整流ユニットまたは定流量弁の掃除をする	A、B	P. 15、16
		レバーハンドルを絞りすぎていませんか？	レバーハンドルを開ける	D	P. 10
		能力切替付きの給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力設定は適正ですか？	能力設定を適正にセットする	—	—
	水が止まらない	整流ユニットまたは定流量弁にゴミ等が付着していませんか？	ゴミ等を水で洗い流す	A、B	P. 15、16
	希望の温度が得られない	整流ユニットまたは定流量弁にゴミ等が付着していませんか？	整流ユニットまたは定流量弁の掃除をする	A、B	P. 15、16
		湯側・水側の止水栓は十分に開いていますか？	止水栓で流量を調節する	—	P. 11
		給湯機器から十分なお湯がきていますか？	給湯機器の温度設定を確認する	—	—
	キャップより水が漏れる	キャップのゆるみはないですか？	整流キャップを十分に締める	C	—
排水口・排水管	排水しないあるいは排水がスムーズでない	排水口の目皿がゴミ等で詰まっていませんか？	目皿の掃除をする	—	P. 15
		排水管・排水トラップがゴミ等で詰まっていませんか？	排水管・排水トラップの掃除をする	—	P. 14
	漏水する	接続部の袋ナットがゆるんでいませんか？	袋ナットを増締めする	—	P. 14
キャビネット	扉が、がたついている	蝶番のゆるみはないですか？	蝶番の増締めする	—	P. 21
	扉の先端が下がっている（上がっている）	—	扉のずれを調節する	—	P. 21
	扉のすき間が上下で違っている				
	扉の高さが上下にずれている				



※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。

●アフターサービスについて

■修理依頼・ご相談について

より安全にご使用いただくために、次の場合は必ずお求めの取扱店にご相談ください。

●“取扱説明書”どおりに使用されても、まだご不明な点があるとき

⚠警告

修理技術者以外の人は、取扱説明書に掲載された事項以外では、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

※ケガをする恐れがあります。

分解禁止

■定期点検のおすすめ

有料となりますが､次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより３年たったもの。

●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの。

■保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付日より２ケ年です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

■修理を依頼されるとき

お求めの取扱店または、保証書に記載のLIXIL 修理受付センター（フリーダイヤルをご利用ください）までご相談ください。

〈保証期間中は〉

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- “技術料”＋“出張料”＋“部品代”で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番
   - キャビネット、水栓金具等それぞれの個別品番が記載されています。
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日

■部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低６年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

■アフターサービス等についておわかりにならないとき

取扱店またはお客さま相談センター（保証書に記載のフリーダイヤルをご利用ください）へお問い合わせください。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」（http://www.lixil.co.jp/privacy/）をご覧ください。

●仕様

■レジオコレクション　手洗キャビネット仕様表

項　　目	レジオコレクション　手洗キャビネット	
タイプ	カウンター収納付	カウンターオープン収納付
品番	GL-DR57JS**	GL-DR57MS**
外形寸法	1500mm ×480mm(カウンター奥行450mm) ×1094mm(カウンター高さ720mm)	1530mm(カウンター横幅1500mm) ×480mm(カウンター奥行450mm) ×1094mm(カウンター高さ720mm)
キャビネット本体	外観部：突板（チーク）、内部：オレフィン化粧板	
扉	突板（チーク）	
カウンター	大理石（ボティチーノクラシコ）	
キャビネット脚	鉄製 Ni-Crメッキ仕上げ（脚部）、塗装仕上げ（フレーム部）	
手洗器	陶器（プロガード+ハイパーキラミック）	
水栓	シングルレバー混合水栓 Ni-Crメッキ仕上げ	
排水金具	Sトラップ／Pトラップ	
使用圧力範囲	0.05～0.75MPa（給水圧力≧給湯圧力）	

【MEMO】

【MEMO】

LIXIL
INAX

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。

※　品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名：	レジオコレクション　手洗キャビネット	（品番：	）
保証期間	取付日より　2 ヶ年	取付日	年　月　日
お客さま	おなまえ	店名	
	おところ		
	おでんわ （　　）　ー	TEL （　　）　ー	

無効

お客さまへ
- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはＬＩＸＩＬ修理受付センターにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1)用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障及び損傷等の不具合
(2)指定業者や施工説明書等に基づかない施工及び工事に起因する不具合
(3)お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷等の不具合
(4)専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5)建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6)経年変化使用に伴う外観上の現像（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
(7)海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
(8)小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
(9)天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震、噴火、風水害、津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障および損傷
(10)戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
(11)自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象
(12)消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまり等による故障及び損傷
(13)水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう）
(14)寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(15)給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16)保証書の期限切れまたは提示がない場合
(17)本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

TEL ０１２０ー１７９ー４００
FAX ０１２０ー１７９ー４３０
※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。
TEL 0562-40-4050　FAX 0562-40-4053
受付時間：平日　9:00～18:00
土・日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターまで

TEL ０１２０ー１７９ー４１１
FAX ０１２０ー１７９ー４５６
受付時間：9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス http://www.lixil.co.jp/